

めざそう 20,000人
1月末組合員数17,531人に
未加入の仲間をご紹介ください

建設労働者

三重県建設労働組合機関紙

発行
三重県建設労働組合
三重県津市島崎町548
電話 (059) 224-1001
http://www.miekenro.or.jp/
発行責任者 水谷 慎二

仲間の団結強化で運動の前進を

— 三重建労第60回定期大会 —



三重建労は2月22日、第60回定期大会をサンワーク津で開催しました。大会には、各支部の代議員や役員ら160人余が参加し、厳しい情勢の中、組合の成すべき諸課題について討議が行われました。役員改選では、杉川委員長を再選。諸要求実現に向け、仲間のさらなる団結強化を誓いました。

諸要求実現へ新たなスタート 杉川執行部9年目に

大会は、奥川副委員長の挨拶にはじまり、議長、書記、大会幹部団などの諸役員を選出しました。杉川委員長は代表挨拶の中で、国保組合の予算要求運動や賃金・仕事対策を



〔右〕諸要求実現に向け、運動の前進を」と杉川委員長
〔左〕ガンバロウ三唱で団結誓う

はじめ、この1年間の諸活動について報告を行うとともに、「厳しい中、課題も多いが、より信頼される組合をめざし、諸要求実現に向けて、一致団結して運動を進ませよう」と訴えました。その後、来賓の皆さんから激励と連帯の挨拶を受け、資格審査、議事運営、選挙管理についての報告が続いた後、猿木書記次長が昨年

1年間の経過報告を、水谷書記長が新年度の運動方針案を、木下会計が決算と新年度予算を提案しました。質疑討論では、安衛則の改正や賠償責任保険への質問・要望が出されました。討議を経て、経過報告、運動方針案、予算案は全員

役員改選では、杉川委員長が再選されるとともに、新役員が選出されました。最後に杉川委員長の発声でガンバロウを三唱し、諸要求実現に向けた、新たなスタートを切りました。

2016年度 役員

委員長	杉川 光孝(名張)	執行委員	米津 雅樹(中央)
副委員長	松葉 浩昌(鈴鹿)	執行委員	田中 俊夫(松阪)
書記長	原 義秀(亀山)	執行委員	羽佐間 康生(松阪)
書記次長	大矢 光義(津)	執行委員	山下 章郎(上野)
書記	奥川 英雅(紀南)	執行委員	吉田 真己(上野)
書記	水谷 慎二(本部)	執行委員	森本 英孝(名張)
書記	中村 智英(鈴鹿)	執行委員	大植 正巳(伊勢)
書記	猿木 清司(本部)	執行委員	立花 弘光(伊勢)
書記	木下 金一(伊勢)	執行委員	杉本 藤伸(志摩)
書記	柴田 正洋(桑名)	執行委員	坂本 龍一(志摩)
書記	松田 守(桑名)	執行委員	尾張 圭司(紀北)
書記	太田 眞治(四日市)	執行委員	岡 紀好(紀北)
書記	堀川 芳三(四日市)	執行委員	前川 曉人(紀南)
書記	西川 和美(四日市)	執行委員	松井 研二(志摩)
書記	平野 久司(鈴鹿)	執行委員	中村 賢意(志摩)
書記	西村 正人(亀山)	執行委員	村田 徹(本部)
書記	大河内 克巳(津)	執行委員	渡邊 眞弓(亀山)
書記	山脇 信広(津)	執行委員	川本 正樹(中央)
書記	稲垣 多喜彦(中央)	執行委員	糸川 元(紀南)

大会諸役員

議長	森岡 茂(上野)	委員	新家 浩治(津)
	杼森 常美(名張)		谷口 朋広(中央)
書記	中野 昌明(伊勢)		小竹 孝(松阪)
	柴原 恒正(志摩)		中井 正雄(上野)
議事運営・資格審査委員長	森 一生(鈴鹿)		湊 康成(名張)
			大西 孝明(伊勢)
選挙管理委員長	田中市五郎(亀山)		結城 明(志摩)
			脇 勝成(紀北)
委員	服部 浩二(桑名)		高橋 浩明(紀南)
	南部 廣美(四日市)		

来賓

全建連書記長	勝野 圭司
連合三重議長	吉川 秀治
衆議院議員	松田 直久
参議院議員	芝 博一
新政みえ代表	三谷 哲央
自民党県議団長	山本 勝
全建連連元書記長	佐藤 正明
衆議院議員(秘書)	
	川崎二郎秘書、中川正春秘書
	岡田克也秘書、田村憲久秘書
	三ツ矢憲生秘書、島田佳和秘書



2月14、15日、静岡県熱海市・ホテルニューアカオで「第55回全国青協定期大会」が開催されました。

青年部活動について意見交換

熱海で全国青協定期大会

全国から142人が参加
議長の挨拶、全建総連・清水書記次長の中央情勢報告、奈良組織部長の挨拶があった後、この1年間の経過報告と、次年度に向けた方針が提案されました。

その後は「仕事・技術技能」「賃金・労働条件」が占められました。建設業の労働災害を原因別でみると、例年どおり、「墜落・転落」がトップで、死者281人のうち103人は、前年比で12人の増加（0・6%増）となりました。そのうち建設業は28

会が主催されました。48県連・組合より142人が集まり、三重建協からは松井部長が参加しました。



松井部長が分科会の座長を務める。

1日目は、坂本青協議長挨拶、全建総連・清水書記次長の中央情勢報告、奈良組織部長の挨拶があった後、この1年間の経過報告と、次年度に向けた方針が提案されました。

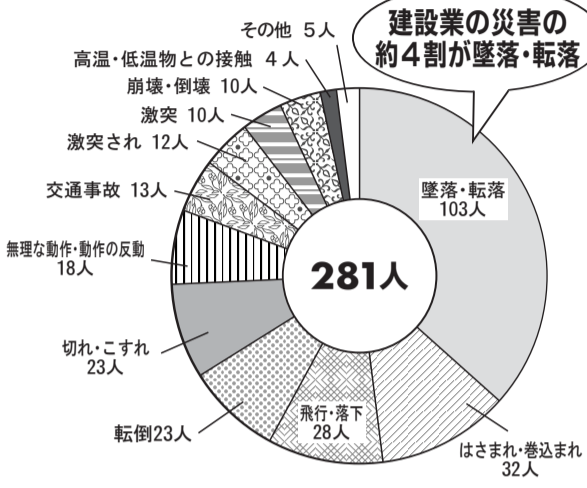
2日目は引き続き、分科会を開催。各県連・組合での取り組みや問題点、今後の青年部活動のあり方などについて活発な意見交換が行われました。

その後、「仕事・技術技能」「賃金・労働条件」が占められました。建設業の労働災害を原因別でみると、例年どおり、「墜落・転落」がトップで、死者281人のうち103人は、前年比で12人の増加（0・6%増）となりました。そのうち建設業は28

墜落・転落災害がトップ

建設業の労災発生状況

三重県 2015年【1月～12月】
建設業の労災発生状況(休業4日以上)



「面倒だから」と安全帯をつけない、階段を使わず足場伝いに降りる、足場板を結束しないなど、一瞬の気の緩みや、ほんのわずかな油断が、深刻な事故を招きます。皆さんも日頃からの安全対策の徹底を心掛けてください。

2015年(1～12月)の三重県内の労働災害発生状況が、三重労働局より発表されました。休業4日以上での死者数は、全産業の合計で2051人、前年比で12人の増加(0・6%増)となりました。そのうち建設業は28

1人と、製造業に次ぐ高い割合を占めました。建設業の労働災害を原因別でみると、例年どおり、「墜落・転落」がトップで、死者281人のうち103人は、前年比で12人の増加(0・6%増)となりました。そのうち建設業は28

害と比べ、重篤となる割合が高いことから、特に注意が必要です。死亡災害は全産業で16人発生しました。前年比では4人減となりましたが、16人のうち6人が建設業と4割近く(37・5%)を占めました。また、この死亡災害6人中、4人が墜落・転落災害によるもので、建設業における労災事故を減少させるためには、やはり墜落・転落災害の防止対策の徹底が強く求められるところです。

実際に全建総連で起きた死亡事例

2階梁より転落

被災者状況：56才・大工・経験30年
発生状況：木造新築現場にて、梁にハシゴをかけて道具を揚げている時に、梁から誤って躯体内部のベタ基礎に転落。
事故原因：ハシゴを固定しておらず、安全ネットも「作業のじゃま」と外してしまっていた。



木造外装中の転落

被災者状況：42才・塗装工・経験不明
発生状況：木造2階戸建ての外装リフォーム工事中、地面より約3mの高さにある軒より作業中に足を滑らせ転落。
事故原因：前日の雨で作業場全体が滑りやすい状況であったにもかかわらず、適切な対応を施さなかった。安全帯の装着がなされていなかった。落下付近の足場に手すりや落下防止策等の安全措置が行き届いていなかった。



現場紹介

伊賀市 N邸新築工事

現場は、伊賀上野城下にある築百年(詳細不明)の町屋住宅の建て替えです。改修か建て替えか、悩ましいところでしたが、柱の傾斜や漏水のせいでも多くの部材が傷み、改修は諦めざるを得ませんでした。長年住み続けてきたお施主様の住まいへの愛着もあり、再利用できるものはないか、施工担当の藤川氏と解体前の建物を調査した結果、樫造りの仕込簷を設計に組み入れることにしました。再利用する部材は解体・保管・補修等の手間が掛かりますが、慣れ親しんだ手作り感



が出せたことが良かったと思います。協力していただいた建方の仲間たちに感謝申し上げます。設計監理 MORI建築設計室 施工 藤川工務店

建設石綿訴訟

4度、国の責任を認める

京都地裁では初の企業責任も

関西アスベスト訴訟について、1月22日、大阪地裁は、「アスベストに対する国の規制に遅れがあった」として、国への賠償責任を命じる「原告勝訴」の判決を言い渡しました。

翌週の1月29日には、京都地裁も同様に国への賠償責任を命じました。また建設アスベスト訴訟では初めて、主要アスベスト企業9社に対し、共同不法行為を認める賠償責任を言い渡しました。

国の責任を認める判決は、東京地裁、福岡地裁に続き、大阪・京都地裁で4度目となります。全建総連では、首都圏の仲間が訴訟を提起して以来、対策本部を設置し、早期解決に向け、政党や議員要請などで支援激励を行ってまいりました。

また全建総連では、裁判に頼らなくても十分な補償が受けられる「基金制度」の創設をめざした要求運動についても、署名活動等を中心に取り組みを進めています。

二級建築士 木造建築士 試験のごあんない

平成28年度の二級建築士、木造建築士の試験日程については、下記のとおりとなります。申込手続き等の詳細については、(一社)三重県建築士会 (TEL: 059-226-0109) までお問い合わせください。

- 申込書配布 3月7日(月)～4月11日(月)
- 申込受付 4月7日(木)～4月11日(月)
- 受付会場 三重県教育文化会館 (津市桜橋2-142)
- 学科試験 二級：7月3日(日) 木造：7月24日(日)
- 設計製図試験 二級：9月11日(日) 木造：10月9日(日)



伊勢志摩サミット市民会議のシンボルマーク

志摩支部青年部では、今年5月26日・27日に開催される「伊勢志摩サミット」の開催記念イベント「仲間」といっしょにカウントダウンが、志摩市内に在住、在勤、在学する5名以上のグループを参加条件として開催の100日前の2月16日からカウントダウンがスタートし、サミット開催の当日まで、毎日1組ずつ「あと何日前」とわかるボード等を作成して、5秒程度の撮影を行い、それらを繋ぎ合わせて、1つの映像を作り上げるというものです。映像の中でパネル等を用い、視覚的に団体の紹介PRができるというところで、志摩支部青年部は3月13日の74日前に向けて、組織拡大、建労職人のPR方法を検討しています。地元でサミット開催というまたない機会なので、積極的に参加し、活用していきたいと思えます。

支部だより

○志摩支部○

サミット効果で建労をPR

北伊勢上野信金「礎」の概要

資金用途	事業性資金
融資金額	300万円以内かつ平均月商の2倍以内
融資利率	純新規の方 年2.875%以上 金庫に借入のある方 年3.250%以上
融資期間	5年以内
担保	不要
連帯保証人	法人…代表者 個人…家族可

※詳しくは所属支部へお問合わせを

組合では、組合員の仕事対策の一環として、運転資金や設備資金などの「事業資金」の融資について、北伊勢上野信用金庫、三重信用金庫、紀北信用金庫と業務提携しています。組合(支部)が「紹介状」を発行し、信用金庫に紹介するというシステムです。これまで信用金庫と取り引きのない方でも利用することが出来ます。信用金庫では、それぞれのニーズに応じた融資について対応いただけますが、北伊勢上野信用金庫と三重信用金庫については、三重建労向けに開発された融資商品もあります。各信用金庫には営業エリアがあります。まずは所属支部にご相談ください。

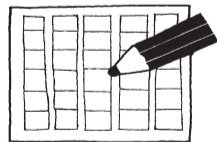
組合では、組合員の仕事対策の一環として、運転資金や設備資金などの「事業資金」の融資について、北伊勢上野信用金庫、三重信用金庫、紀北信用金庫と業務提携しています。組合(支部)が「紹介状」を発行し、信用金庫に紹介するというシステムです。これまで信用金庫と取り引きのない方でも利用することが出来ます。信用金庫では、それぞれのニーズに応じた融資について対応いただけますが、北伊勢上野信用金庫と三重信用金庫については、三重建労向けに開発された融資商品もあります。各信用金庫には営業エリアがあります。まずは所属支部にご相談ください。

事業資金は信金で

組合で紹介状を発行します

仲間の声を機関紙に

みなさんからの投稿記事をお待ちしています



資格取得は三重建労で

平成28年度 技能講習・安全衛生教育等実施予定

三重建労では、多様化する建設技術に対応するため、技能講習や安全衛生教育を開催しています。

今年も下記の日程で、講習を実施します。なお、下記は予定であり、講習は追加や変更となる場合もあります。

詳細については、開催支部または本部にお問い合わせください。

足場の組立て等作業主任者

- 6月 4日～5日(四日市)、18日～19日(紀北)
- 7月 23日～24日(鈴鹿) / 11月 14日～15日(伊勢)

木造建築物の組立て等作業主任者

- 6月 11日～12日(鈴鹿)

玉掛

- 5月 13日～15日(鈴鹿)、21日～23日(紀北) / 6月 20日～22日(伊勢)
- 9月 9日～11日(鈴鹿) / 11月 5日～7日(鈴鹿)

小型移動式クレーン運転

- 6月 16日～18日(紀南)、18日～19日、25日or26日(鈴鹿)
- 7月 11日～13日(伊勢) / 10月 15日～16日、22日or23日(鈴鹿)
- 2017年2月 9日～11日(中央)

高所作業車運転

- 5月 20日～21日or22日(鈴鹿) / 8月 29日～30日(伊勢)
- 9月 2日～3日or4日(鈴鹿) / 11月 18日～19日or20日(鈴鹿)

職長・安全衛生責任者教育

- 7月 9日～10日(鈴鹿) / 8月 6日～7日(四日市)
- 10月 17日～18日(伊勢) / 12月 3日～4日(鈴鹿)

受検申請受付	平成28年4月4日(月)～4月15日(金)
実技試験	平成28年6月2日(木)～9月7日(水)
学科試験	平成28年8月21日(日)8月28日(日)9月4日(日)
合格発表	平成28年9月30日(金)
実施予定職種	左官、塗装、造園、建築板金など

平成28年度前期 技能検定のご案内

技能検定とは、働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する「技能の国家検定制度」で、技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。平成28年度の前記技能検定の日程は、左記のようになります。詳しくは支部窓口にお問い合わせください。

平成28年度 入校生募集中!!

募集学科

木造建築科

◎認定職業能力開発校とは

公共職業能力開発校とは異なり、事業主、事業主の団体等の民間が行う訓練で職業能力開発促進法に基づき、知事の認定を受けた職業能力開発校をいいます。

私たち三重県建設労働組合が運営母体となり、県下に3校の認定校を運営。建築大工の見習い生への職業訓練の実施を中心として、伝統的な木造在来工法の伝承と新しい技術の習熟をはかり、社会に即応できる技術者を育てています。

- 四日市建設高等職業訓練校
- 鈴鹿建設高等職業訓練校
- 伊勢建設高等職業能力開発校

- 四日市市ときわ5丁目1-8 TEL 059-354-1531
- 鈴鹿市矢橋1丁目21-1 TEL 059-382-1521
- 伊勢市一之木4丁目644-3 TEL 0596-23-5535



各支部の新執行部が誕生

諸要求実現に団結強める

1月から2月中旬にかけて、各支部で定期大会が開催され、この1年間の活動報告と新年度の運動方針が提案、活発な討議が展開されました。

建設国保の育成・強化、賃金・労働条件の改善、仕事確保、組織拡大など、私たちの諸要求の表現に向け、さらなる団結強化が確認されました。

大会で選出された各支部の新年度役員は、次の皆さんです。

- 桑名支部**
- 委員長 柴田 正洋
 - 副委員長 服部 浩二
 - 書記長 藤田 政次
 - 書記次長 松田 守
 - 書記次長 岡本 淳
 - 書記次長 水谷 正生

- 鈴鹿支部**
- 委員長 松葉 浩昌
 - 副委員長 森 一生
 - 書記長 吉田 久弘
 - 書記次長 喜田 健二
 - 書記次長 中村 智英
 - 書記次長 井ノ口 智士
 - 書記次長 前川 茂治

- 津支部**
- 委員長 大矢 光義
 - 副委員長 大河内 克巳
 - 書記長 岡田 宏司
 - 書記次長 樋口 辰美
 - 書記次長 山脇 信広
 - 書記次長 富嶋 正樹
 - 書記次長 加藤 大介
 - 書記次長 新家 浩治

- 松阪支部**
- 委員長 田中 俊夫
 - 副委員長 森本 哲生
 - 書記長 小竹 孝
 - 書記次長 羽佐間 康生
 - 書記次長 大原 宏文
 - 書記次長 楠谷 俊之
 - 書記次長 中井 正雄

- 上野支部**
- 委員長 山下 章郎
 - 副委員長 藤田 博行
 - 書記長 吉田 真己
 - 書記次長 森岡 真茂
 - 書記次長 中井 正雄

- 紀南支部**
- 委員長 奥川 英雅
 - 副委員長 中村 雅哉
 - 書記長 前川 曉人
 - 書記次長 糸川 元
 - 書記次長 高橋 浩明

- 四日市支部**
- 委員長 太田 眞治
 - 副委員長 水谷 哲夫
 - 書記長 矢田 孝幸
 - 書記次長 小澤 和夫
 - 書記次長 平井 勇次
 - 書記次長 堀川 芳三
 - 書記次長 佐藤 高敏
 - 書記次長 堀川 和直

- 亀山支部**
- 委員長 原 義秀
 - 副委員長 田中市 五郎
 - 書記長 山中 勝美
 - 書記次長 西村 正人
 - 書記次長 並木 要二
 - 書記次長 櫻木 卓也

- 中央支部**
- 委員長 稲垣 多喜彦
 - 副委員長 宇陀 正己
 - 書記長 村田 利男
 - 書記次長 米津 雅樹
 - 書記次長 寺西 崇晃
 - 書記次長 煙ヶ谷 博美

- 志摩支部**
- 委員長 杉本 藤伸
 - 副委員長 結城 明
 - 書記長 山口 登
 - 書記次長 小堀 和人
 - 書記次長 山本 恒功
 - 書記次長 大田 恒男
 - 書記次長 坂本 龍一

アイドル登場

今回、紹介するアイドルは、堀川芳三さん(69才・板金工)のお宅の可愛い3姉妹です。

可愛い癒しの3姉妹

3姉妹といっても、堀川さんの娘さんやお孫さんではなく、2年前に家族の間入りをした猫の3姉妹です。

当初は小さかった子猫たちも元気に育ち、今ではすっかり堀川家の一員になっています。



堀川芳三さんの愛猫(仲良し3姉妹) スモモ(左)、カリン(中)、オリーブ(右)

■ 四日市支部 ■

- 名張支部**
- 委員長 柚川 光孝
 - 副委員長 湊 康成
 - 書記長 森本 英孝
 - 書記次長 岡田 法久
 - 書記次長 垣守 勲

- 伊勢支部**
- 委員長 木下 金一
 - 副委員長 大植 正巳
 - 書記長 村田 耕一
 - 書記次長 立花 弘光
 - 書記次長 小野 久美
 - 書記次長 大西 孝明

青年部 定期大会のご案内

三重建労青年部では、3月13日(日)、三重建労会館で第57回定期大会を開催します。

青年部の一層の活性化、取り組みの強化のためにも、多くの若い仲間参加をお待ちしています。

日時 3月13日(日) 午前10時より

場所 三重建労会館

参加 各支部5名

下之川ごんぼ祭り

津支部 鈴木 憲生 通信員

普段は過疎で静かな津市美杉町下之川だが、2月11日の建国記念日には、下之川仲山神社に、県内・県外からも、室町時代より続く奇祭「ごんぼ祭り」に人々が集まってくる。

本殿祭の拝殿の中には、前市長をはじめ津市選出の国会議員や県議員が参拝されていた。

2人の若者が烏帽子、下垂姿で天、地的に矢を放つ「弓神事」と、古式に乗っ取り鱈をさばく「マナイタ神事」。

参拝者には甘酒と、玄米が終ると、広場に安置されていた男女のシンボルをかたどった2基の神輿が、参拝者をラッシャーイ、ワッショイの掛け声で駆け上がり、神輿は境内を勇壮に練り歩く。

生物みな雄雌の和合が、あつてこそ。五穀豊穡、子孫繁栄を祈願して、2基の神輿は豪快にドッキンクして、神前に奉納され、お祓いを神主がして神事は終る。

小豆粥と、ごぼうの山椒味噌あえは、香り、塩味ともよく美味であった。



尾鷲の奇祭「ヤーヤ祭り」の花形

紀北支部 内山 知樹 通信員

尾鷲市では、2月1日から5日にかけて、尾鷲神社の祭礼である「ヤーヤ祭り」が開催されました。

ヤーヤ祭りは、白装束の男衆が狭い通りで激しくぶつかり合う「奇祭」として知られる例祭で、豊漁と豊作を祈願するものです。

2月5日の道中大行列で、私の息子が、この祭りで花形である「長刀振り」の大役を無事こなしました。

長刀振りには、武者装束の姿で顔に化粧をし、背丈より長い長刀を振る舞を1人で行います。

祭りの大役をこなした息子を誇りに、今までで一番心に焼きついた祭礼となりました。



息子が長刀振りの大役を